

平成二十三年度 春の特別企画展

家持の本棚

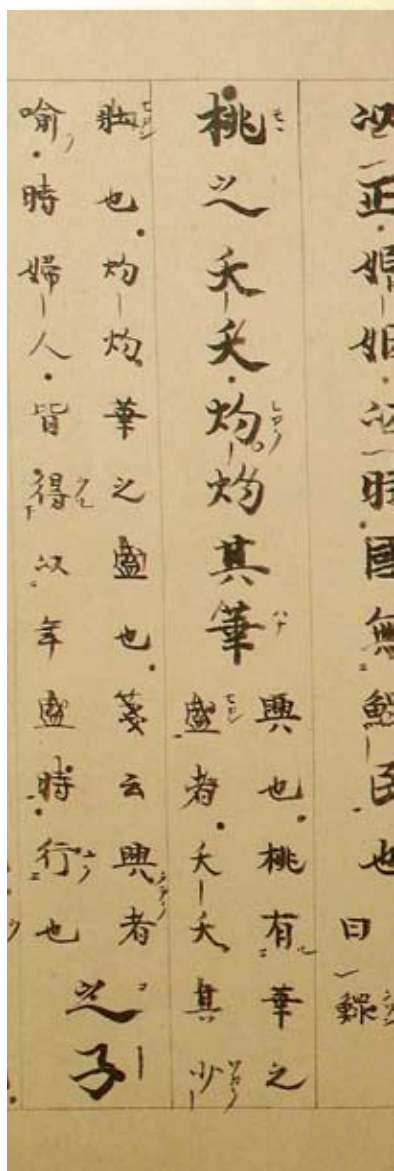
4月13日(水)～5月30日(月) 高岡市万葉歴史館

春の苑紅にほふ

桃の花下照る道に出て立つ娘子

(大伴家持・卷十九「四」三九)

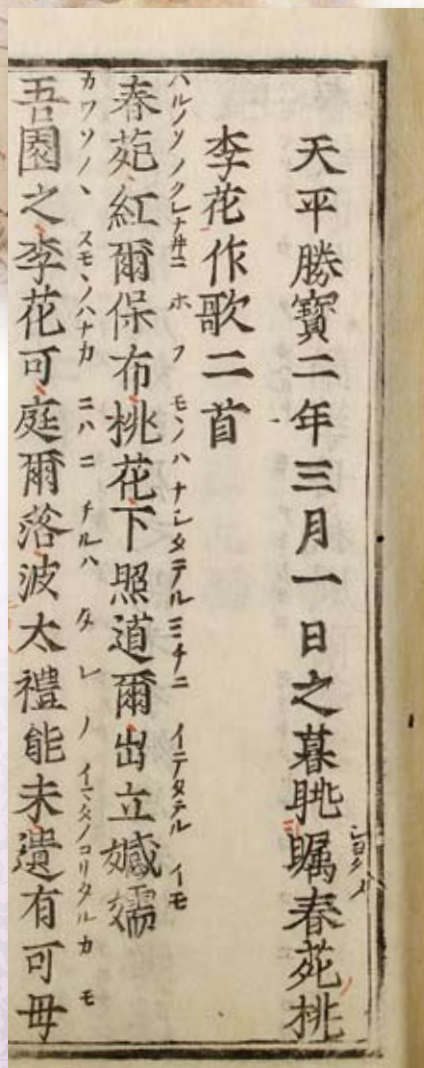
この歌には、古代中国の書物「毛詩」「桃夭」の影響などが指摘されています。



(毛詩卷第二)



(鳥毛立女屏風)



(寛永本万葉集)



平成二十三年度 春の特別企画展

家持の本棚

協力：国立大学法人奈良女子大学古代学術研究センター

大伴家持たち万葉びとは、日々いったいどのような本を読んでいたのでしょうか。
『万葉集』の表現は、時として古代中国の書物からのつよい影響を受けています。家持たち万葉びとは、遣唐使船などによってもたらされた本を読むことで表現方法をまなびとり、そこから独自の文芸を生み出そうとしていたのです。

今回は、家持たちが詠んだ歌に影響を与えた中国の書物がどういった内容を持ち、万葉びとにどのように読まれていたのかをわかりやすく紹介します。そして、『万葉集』に取りこまれた表現との比較をとおして、万葉びとが歌の表現を工夫した過程を明らかにします。この機会に、万葉びとのまなびと創作の世界に触れてみて下さい。

記念講演会

「大伴家持と漢詩文」

高岡市万葉歴史館特別顧問・
駒澤大学名誉教授 小野 寛氏

- 日時 4月29日（金・祝）
午後1時30分～3時00分

- 場所 高岡市万葉歴史館・講義室

- 定員 先着120名

※お申し込みは電話・FAX・メール等で当館まで

聴講無料
（要入館料）

主な展示品

せきしつぶんかんぼくずし
赤漆文櫨木厨子（奈良女子大学所蔵正倉院模造宝物）

東大寺献物帳・王勃詩序・王勃集残卷

毛詩卷第一・尚書卷第六・桂本万葉集

藍紙本万葉集・天治本万葉集・眞福寺本古事記
（以上9点複製または影印）

天文板論語・詩経集註・古文孝経

寛文版日本書紀・抱朴子

遊仙窟・卷子本万葉集



利用のご案内

- 開館時間 4月～10月 午前9時～午後6時
（入館は午後5時15分まで）
11月～3月 午前9時～午後5時
（入館は午後4時15分まで）
- 休館日 火曜日（祝日の場合は、翌日以降の平日）
- 入館料 一般…210円 中学生以下…無料
団体（20名以上）…65歳以上…160円

会期中の休館日

4/19、4/26、5/6、5/10、5/17、5/24

交通のご案内

- JR 高岡駅より車で25分
- 能越自動車道高岡北ICより車で25分
- JR 高岡駅正面口4番バスのりばよりバス
約25分乗車…伏木一宮下車…徒歩7分
（西まわり古府循環・東まわり古府循環・西まわり伏木循環など）
- JR 氷見線伏木駅より徒歩25分



TAKAOKA MANYO HISTORICAL MUSEUM
高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮1-11-11
TEL: 0766-44-5511 FAX: 0766-44-7335
E-mail: manreki@office.city.takaoka.toyama.jp

歴史館の最新情報、日々の出来事はこちら！

- 公式ホームページ <http://www.manreki.com>

- お知らせメール（メールマガジン登録）
<http://katakago.info/mail/form.cgi>
お知らせメール登録はこちら→



- 「高岡万歴日記」（公式ブログ）
<http://katakago.info/blog/>

- ツイッター 家持くん @manreki